

第2(2・3上)学年〈B案〉 — 年間学習指導計画作成資料(平成28年度) —



※実際の立案に当たっては、各校の実態に応じてA案の題材と差し替えたり教材を変更したりしてご活用ください。

	題材名	題材のねらい	指導事項	主な学習の窓口 〔共通事項〕	教材名	学習目標 (教科書掲載他)	扱い時数の 目安(計35)
前期	曲想を生かして、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●タンギングやアーティキュレーション、サミングなどのリコーダーの基礎的な奏法を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	歌唱—ア		夢の世界を	歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れにのって合唱しよう。	4
			器楽—イ		BINGO GAME RHYTHM GAME ◆アルトリコーダー LESSON2, 3 (p.10～15)	音符、休符、記号などの名前を確認しましょう。 下の図を使ってリズムをつくりましょう。 リコーダーを演奏しよう。	
	パートの役割を理解し、 曲想を生かして、 表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、音の重なり方やパートの役割を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。 ●曲想を味わい、パートの役割や楽器の特徴を理解し、全体の響きのバランスを考えながら、曲にふさわしい表現を工夫して合奏する。	歌唱—ア, ウ		翼をください	曲想を感じ取り、パートの役割を理解して合唱しよう。	6
			器楽—ウ		My Voice! ◆Time To Say Goodbye (p.52)	自分の思いを歌声にのせよう! 声部の重なり方の特徴を生かしてアンサンブルを工夫しよう。	
	器楽—ア, ウ		◆Edelweiss (p.57) / 春 (p.59) 他	パートの役割を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して合奏しよう。			
詩と音楽とのかかわりを 理解して、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりを理解し、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	歌唱—ア		心の歌 夏の思い出 (共通教材)	情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。	2	
		歌唱—ア		メッセージ	歌詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫して歌おう。		
響きの美しさを味わおう	●諸外国の様々な合唱の特徴から音楽の多様性を理解して、アカペラによる響きの美しさを味わいながら聴いたり、表現を工夫して合唱したりする。 ●和音の移り変わりを感じ取って、表現を工夫しながら旋律をつくる。	鑑賞—ウ		ア カペラの合唱曲	アカペラによる響きの美しさを味わいながら聴こう。	4	
		歌唱—ウ		Kum Ba Yah	アカペラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。		
		創作—ア		My Melody	和音の音を使って旋律をつくろう。		
オペラの特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●オペラの音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞—ア, イ		「アイダ」から	オペラに親しみ、その音楽を味わいながら聴こう。	2	
曲の構成を理解して、 曲想を味わおう	●曲想の変化を味わい、速度の違いや変化によって生み出される効果を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ●曲の構成と曲想とのかかわりを理解して、そのよさや美しさ、パイプオルガンの響きを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ●表現したいイメージをもち、言葉からもとなるリズムをつくり、それらを組み合わせたり反復・変化させたりしながら構成や全体のまとまりを工夫して、リズムアンサンブルをつくる。	歌唱—ア		花の季節	速度の変化を工夫して歌おう。	5	
		鑑賞—ア		フーガ ト短調	旋律が追いかけるように重なり合っていくおもしろさを味わおう。		
		創作—イ		Let's Create!	構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。		
日本の歌のよさや美しさを 味わい、表現を工夫しよう	●歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。	歌唱—ア		心の歌 荒城の月 (共通教材)	歌詞や旋律が醸し出す雰囲気を味わいながら歌おう。	2	
		歌唱—ア, ウ		歌い継ごう 日本の歌	地域や他の国との交流、行事など、さまざまな場面で歌おう。		
日本の伝統芸能や 世界の諸民族の音楽の 特徴を理解して、 その魅力を味わおう	●文楽の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ●長唄にふさわしい発声や言葉の特性を理解し、それらを生かしながら表現を工夫して唄おう。 ●尺八【三味線】*の特徴や基礎的な奏法を理解し、曲想や音色を味わいながら、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。 ※尺八もしくは三味線 ●世界の諸民族の音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	鑑賞—ア,イ,ウ		「新版歌祭文」“野崎村の段”から	日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わおう。 — 文楽 (人形浄瑠璃) —	6	
		歌唱—イ		長唄「勸進帳」から	声や音楽の特徴を感じ取って唄おう。		
		器楽—イ		◆夕やけ こやけ (p.49) 【さくらさくら (p.37)】	尺八【三味線】を演奏しよう。		
		鑑賞—イ, ウ		世界の諸民族の音楽	世界各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう。		
仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう	●歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱—ア, ウ		心通う合唱	仲間といっしょに、曲にふさわしい表現を工夫して合唱しよう。	4	
		歌唱—ア, ウ		指揮をしてみよう!	指揮をするときのポイントをつかもう。		

※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

国歌 君が代

… 音色 … リズム … 速度 … 旋律 … テクスチャ … 強弱 … 形式・構成

… 鑑賞教材 … 器楽教材 (中学生の器楽)